

2011年度

科目名	児童サービス論				
担当教員	中道 厚子				
配当	文 2・教育2・人間2			コード	53075
開期	後期	講時	金曜日3限	単位数	2
授業テーマ	児童サービスの理論と実際を学び、児童サービスを実践できる図書館員をめざす。				
目的と概要	児童サービスの基本目的は、所蔵する児童資料を媒介として子どもたちに本を読むおもしろさ・楽しさを知ってもらうことにある。本講義では、図書館員としてどんなサービス行えばよいかを、理論と実践の両面から学ぶ。				
成績評価法	毎回授講義後に記入するミニレポート(50%) + 課題(50%)				
テキスト	使用しない。授業時にプリントを配布。				
参考書	必要に応じて紹介する				
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	理論と実践の両面から力をつけることを目指すので、授業中に配布された資料の精読およびポイントの整理は もちろん、課題へも積極的に取り組んで欲しい。				
講義計画					
第1回	オリエンテーション 児童サービスとは				
第2回	児童サービスの意義				
第3回	児童サービスの歴史 ①明治・大正期				
第4回	児童サービスの歴史 ②昭和・平成期				
第5回	児童サービスの対象とは				
第6回	児童の発達段階と読書①乳幼児期				
第7回	児童の発達段階と読書②児童期				
第8回	児童の発達段階と読書③青年期				
第9回	子どもの読書推進にかかわる様々な動き				
第10回	これからの公共図書館に期待される児童サービス				
第11回	児童図書館資料の選択				
第12回	児童サービスの様々な手法①フロアの活用				
第13回	児童サービスの様々な手法②メディアの活用				
第14回	児童サービスの様々な手法③イベントの活用				
第15回	よりよい児童サービスをめざして まとめ				